

平成 24 年度第 3 回北海道ブロック協議会  
第 4 回北海道代協理事会  
議 事 録

平成 24 年 10 月 19 日(金) 13:00~17:00

於:ノホテル札幌

出席者

日本代協理事	木内 彰		理事	田中 幹	札幌	理事	大高 喜弘	釧路
日本代協理事	山口 史朗	札幌	理事	廣瀬 禎	室蘭	理事	深井 弘美	帯広
会長	山崎 善仁	札幌	理事	坂本 信一	旭川	監事	木下 裕章	小樽
副会長	羽山 和広	帯広	理事	山本 仁	旭川	監事	木村 宏文	千歳
副会長	松浦 則雄	函館	理事	高橋 章哲	旭川		寺本 朋史	札幌
副会長	佐々木 雅之	札幌	理事	佐藤 聖	苫小牧		見上 峰夫	札幌
副会長	寺田 賢	旭川	理事	小野 修	函館		嶋田 拓馬	札幌
専務理事	赤山 登	札幌	理事	大橋 敏	函館		梅基 伸男	札幌
常務理事	富谷 則文	札幌	理事	濱中 公也	函館	オブザーバー	山内 正明	釧路
理事	伊藤 隆人	札幌	理事	吉田 和彦	釧路	事務局	藤田 和代	

司会 専務理事 赤山 登

1. 開会の辞(寺田賢)

2. 北海道代協会長挨拶(山崎善仁)

日本代協、北海道代協、各支部の活動が活発化してくる時期であります。個々の会員がより働きやすくまた活動しやすくできるよう後押し・協力するのが代協の使命であると考え、具体的に各会員に対して「見える活動」をし、満足できるよう行動してゆきたいと思っております。

3. 日本代協常任理事挨拶(木内彰)

各支部会員への本部活動の趣旨伝達、また反対に各会員よりの意見の吸い上げが重要と考え、この会議がそのための大切な場であり、ぜひ実りある会議にしましょう。

4. 日本代協常任理事挨拶(山口史朗)

日本代協組織委員長としての立場より二点ほど申し上げたいと思います。

- ・国民年金基金制度につきましては、将来的な破綻を危惧されている方もおられますが、学識経験者等の意見でも制度的にはまったく問題のない。むしろ現会員にとってメリットの多いものであり、制度存続のための新規加入者募集に努めていただきたい。

- ・代協は何のためにあるのか。突き詰めて言うと、損保代理店制度を守っていくためのもの

です。そのためには組織率を高める会員増強が重点項目と位置付け、全会員一丸となり取り組んでいかねばなりません。

## 5. 倫理綱領の朗読(大橋敏)

## 6. 議長選出

議長には羽山和広副会長(帯広)が指名され、承認を得た。

## 7. 議事録署名人の選出

議事録作成者:富谷則文常務理事(札幌)、議事録署名人に山口史朗(札幌)、伊藤隆人(札幌)各氏が指名され了承を得た。

## 8. 議 事

### [ I ] 報告事項

#### (1) 日本代協理事会報告

<木内彰>

- 1、日本代協への提言があれば当会議でも協議いただきたい。
- 2、コンベンションにおいて北海道代協より長尾氏1名、その他地区で9名が表彰される次第となっております。

<山口史朗>

- 1、金融庁はブローカー制度が普及していないのを踏まえ、規制緩和あるいは乗合代理店に対する規制の厳格化の方向へ向かうものと考えられる。
- 2、「各社共通化・標準化」問題については、各種会議においてできるものから取り組んでいくよう話がされている。

#### (2) 日本代協ブロック長会議報告(山崎善仁)

資料P 19～22 に日本代協ニュースを添付しておりますので、一読していただきたいと思えます。会議では各取り組み事項の進捗状況報告を中心に進められた。特筆すべきは、金融庁検査が大型プロ代理店に直接入検し非常に厳格で対保険会社と同様のものではあったとの報告がされています。

#### (3) 日本代協委員会報告

##### I、組織委員会（伊藤隆人）

- ・ 10/16開催の委員会では会員増強日本代協目標 12,000 店（北海道は 527 店）への取り組みが主題で進められた。また、年金基金新規加入については1支部1名の目標設定がされているので、今年度を境に立て直しを図りたい意向。
- ・ 各代協にて新入会員オリエンテーションの実施依頼もあった。

##### II、企画環境委員会（吉田和彦）

- ・ 「共通化・標準化に向けた提言」プロジェクトチームでは添付資料のとおり各種項目へ取り組んでいる。
- ・ 代理店賠償引受保険会社がアリアンツ社よりエース社へ本年度変更になったが、10月1日現在の状況はP 14のとおり。
- ・ 活力研協議内容はP 15、ゆうちょ銀行の損害保険募集業務に対する意見書がP 16～P 18のとおり提出されている。

### III、CSR委員会（山本仁）

- ・ 高校向けの自動車事故防災活動の統一提案書が作成されたので、ぜひ活用し1校でも多くの学校で実施していただきたい。
- ・ グリーン基金がホームページ上で公募できるようになり、ここ数年北海道より選定されていないので積極的なご提出を希望いたします。
- ・ 損保協会HPにハザードマップ活用学習がリリースされたので、活用いただきたい。
- ・ 各支部への依頼として、CSR活動が活発化することにより北海道代協の知名度がアップし会員増強他一連の取組み項目へプラスになっていくことを認識していただきたい。

### IV、広報委員会（嶋田拓馬）

- ・ 保険情報冊子「みなさまの保険情報」があり、代理店との個別契約となっているが、支部との契約も可能なので活用いただきたい。

### V、ビジョン委員会（佐々木雅之）

- ・ 委員会にては＜会員のため何をやっていくのか＞を考え、より魅力ある代協にするための具体策に取り組んでいる。

### VI、教育委員会（山崎善仁）

- ・ 損害保険大学課程コンサルティングコースの申込が10月より始まった。専業募集従事者へは特に早めの資格取得を勧めていただきたい。
- ・ 7月・8月が新資格制度への移行期間でしたが、未だ手続き未完了の代理士が多数いるので支部単位でも周知徹底願います。

## (4) 各支部活動報告

各支部の活動については会議資料P 33～P 37参照（特筆・変更点は以下のとおり）

- ・ 札幌支部一全会員参加型の委員会活動を実施しているので、今後の進展が楽しみ
- ・ 室蘭支部一苦小牧への活力研セミナーへ6名参加
- ・ 旭川支部一チャリティーパークゴルフでは交通遺児への募金4万円の実績

## (5) 各委員会活動報告

各委員会の活動状況につき各委員長より口頭簡易報告がされる。

- \* 組織委員会委員長より、支部別会員目標数の再確認と支部別・代申の専業、兼業管内代理店数の報告と把握依頼がある。
- \* 広報委員会委員長より、各支部での地震キャンペーンへの協力確認依頼がある。

## (6) その他

- ・10月11日損協との昼食懇談会に山崎、赤山、佐々木が参加し、会員増強への協力依頼、代協窓口担当者の修正依頼、地震保険の協調募集、共同での社会貢献活動の実施（一般市民、消費者向け活動を活発化することにより地域での業界知名度を上げていきたい）、雪害に係わる悪徳リフォーム業者への共同対応 等について話し合いがされた。

## [II] 審議事項

### (1) JCM社との提携について(山崎善仁)

前回理事会にて、会員事業のサポートとしてのJCM社との提携問題は事業委員会へ委託、検討事項であったが、詳細検討のうえ妥当と判断したので当会での審議を提案する。

\*議長採択をとり**承認可決**

### (2) 会員増強策について(伊藤隆人)

会議資料P24項目7のとおり各支部具体的実施策により527会員を達成する所存を表明。各支部長よりの取組み報告がある。

\*目標達成への活動強化につき議長採択をとり**承認可決**

### (3) 国民年金基金の理解と加入促進について（山口史朗）

今年5月に日本代協より事務運営費に対しての250万円の資金導入があったものの、制度自体は毎年一定数の新規加入があれば何ら問題はないし、制度上のメリット（・掛金全額控除、・確定拠出確定給付、・中途変更可能、）も明白であり推進キャンペーンでやられる状態ではなく、代協が持つ良い制度の維持存続のための動きをしていただきたい。

\*加入促進につき議長採択をとり**承認可決**

### (4) CSR活動について(山本仁)

現在、北海道代協にCSR委員会はなく、暫定的に広報委員会に帰属している状況ですが、活動地域が広域に亘り、また北海道代協の重要な活動であることを鑑みると早急な委員会設立を要し、今後の活動に当たるための設立審議を提案致します。

各支部の意見を聞く。

札幌―設立賛成。室蘭―メンバー構成上現状維持が望ましい。旭川―設立賛成。小樽―少人数支部には設立は厳しい。苫小牧―他委員会との役員兼任での委員会出席が可能ならば。千歳―現状維持を希望。函館―一期の途中での設立は反対。釧路―現状維持。帯広―新委員の輩出は無理。

（山崎会長発言）―CSR活動自体については各支部充分理解をし、取組んでいただいているものです。委員の兼任も考えられるが、そこへの負担が大きくなりすぎる。

（旭川支部発言）―今でなくとも、設置の可否と可の場合の時期についてははっきりして

欲しい。

(函館支部発言) 一広報との線引きがしにくい活動であり、2委員会統一化(広報CSR委員会)で大支部は委員2名輩出ではどうか。

\*議長採択をとり あるべきかたち検討委員会へ委嘱検討することで合意。

#### (5) あるべきかたち検討委員会について(山崎善仁)

あるべきかたち検討委員会のたち位置を整理、再確認をしたい。(事前協議、理事会との二重の協議となっていないか等)

・メンバー的にも時間的にも有効ではないとの事務局側からの意見が出たため、議長提案により次回までに事務局意見を整理集約し再審議の提案がされる。

\*議長採択をとり**次回再審議**

#### (6) 政治連盟について(梅基伸男)

各支部の政連会費支払状況は資料P7のとおりで、支部長あてに振込票を送付させていただくので、何とか期日までの支払処理を願いたい。

各支部現状は以下のとおり

札幌一会費支払時の同封文書利用で19名が同意、39名が拒否、その他無回答、催事のときに募金箱方式をとり一定額を徴収している。

旭川一同封文書は利用していない。

苫小牧一文書採用にて同意9名、反対10名、無回答7名。

函館一文書採用にて同意30名、反対25名、無回答30名。

釧路一現在ほぼ未加入だが、函館だけにおんぶするわけにもいかないと考えている。

帯広一あくまでも個人判断により割当額支払は厳しい。

(梅基)一支部へ戻り再度の各会員へへのお願いの形を取ることを承認いただきたい。

\*議長採択をとり**承認可決**

#### (7) その他(山崎善仁)

・コンベンションのなかでの「代協会員懇談会」は質問事項事前提出となっているので、日本代協への提言事項とあわせこの場で提案いただきたい。

\*議長提案により、該当あれば11月2日までに事務局報告することで**承認可決**

・1月の理事会開催日程につき、セミナー開催時は午前中開始でないと1日で終了できないが、早朝よりの会議開始で可能かどうかの確認。

\*議長がメンバーに確認し1日で終わらせる日程での開催決定となる。

### [Ⅲ] その他

○広報嶋田氏よりプロジェクター(10万円程度)の購入希望と回線変更の要望がなされた。

・必要時のレンタル対応での経費比較を使用頻度詳細調査と合わせて行い決定したらよいのではないかと意見があり。

\*議長採択をとり、回線変更については承認・プロジェクターについては詳細調査後必要時に再度提案審議にて承認

#### 9. 監事講評(本村宏文)

我々北海道代協役員のこの場での会議内容、また各種活動がすべての会員まで理解されていないように感じる。会議においては様々な意見が出るのが望ましく、その点では良かったが決定事項等の個々の会員への伝達・認識が必要と考えます。

#### 10. 閉会の辞(佐々木雅之)

議事録作成者 富 谷 則 文

議事録署名人 山 口 史 朗

議事録署名人 伊 藤 隆 人